

CITY OF KITAKYUSHU GUIDE BOOK

令和8年度
北九州市 企業立地のご案内



北九州市産業経済局企業誘致課

〒803-8501 福岡県北九州市小倉北区城内1-1
TEL. 093-582-2065 FAX. 093-582-1202
ホームページアドレス ● <https://kitakyu-kigyorichi.jp/>



北九州市港湾空港局港営課

〒801-8555 福岡県北九州市門司区西海岸1-2-7
TEL. 093-321-5988 FAX. 093-331-5501
ホームページアドレス ● <https://kitaqport.jp/>



北九州市東京事務所 (首都圏企業誘致センター)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
(東京交通会館 6F)
TEL. 03-6213-0093 FAX. 03-6213-0090

2026

日本の産業を支える「バックアップ力」。北九州市には、それがある。

北九州市のプロフィール

官営八幡製鐵所の操業により幕を開けた「ものづくりのまち」北九州市は、革新的な技術で世界に挑戦する企業を生み、それを支える中小企業や人材を輩出してきた輝かしい歴史、そして、環境先進都市として世界をけん引してきました。

北九州市は、公害を克服してきた環境先進都市として新たな魅力を創出してきた「グリーン」の力と、ものづくり企業が集積して産業都市として発展してきた「テクノロジー」の力を掛け合わせて、『世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」～課題解決先進都市への挑戦～をスローガンに、「稼げるまち」の実現を目指します。

バックアップ首都・北九州市への進出を、心よりお待ちしております！

Contents

充実した都市インフラ

「場」のポテンシャル

- 物流 陸海空の充実した物流機能 3
- 水道 安定供給可能な工業用水道 5
- 電力 再生可能エネルギーの集積 5
- BCP 災害リスクの低さ 6
- 物価 廉価なコスト 6

一世紀にわたり発展してきた産業都市

「企業」のポテンシャル

- ものづくり(テック)産業×グリーン産業の発展 7
- 成長産業の育成・誘致 7
- 北九州市と親和性が高い次世代産業 8

優秀な人材が集まるまち

「人」のポテンシャル

- 北九州学術研究都市 9
- 教育機関 豊富な理工系人材 10
- 半導体ネットワークの形成、人材育成強化 10
- 用地紹介 11
- 響灘地区 13
 - 響灘臨海工業団地「響灘地区」 15
 - 日本製鉄株式会社 用地1「響灘地区」 17
 - 日本製鉄株式会社 用地2「響灘地区」 18
 - ひびき灘開発株式会社 用地「響灘地区」 19
 - 三菱ケミカル株式会社 九州事業所(福岡)用地 20
 - サイエンスパーク 21
- 北九州学術研究都市 21
- 北九州空港跡地産業団地 22
- マリナクロス新門司「新門司地区」 23
- 充実した補助メニュー 25
- 立地企業様からの声 27

“バックアップ首都”構想



“バックアップ首都構想”

首都圏及び太平洋側一帯では、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、有事の際にも社会経済活動を維持し、国民生活が停滞しないよう、バックアップ機能の確保が喫緊の課題となっています。

北九州市は「災害リスクの低さ」「エネルギー・水の安定供給」、「物流インフラの充実」といった産業都市としてのポテンシャルを打ち出し、国内外の企業に対して北九州市にバックアップ拠点を持つことを推奨しています。現在はデータセンターなどの誘致、国内外の本社や支社機能、そして、中長期的には政府機関等の進出。その実現に向け、戦略検討を進めています。



北九州市長
武内 和久

Profile 主な経歴

- 平成6年～
 - 東京大学法学部 卒業
 - 厚生省(現:厚生労働省)入省
 - 米国ワシントン 赴任
 - 英国ロンドン 赴任
- 平成27年～
 - アクセンチュア(株)
 - マッキンゼー・アンド・カンパニー
 - 九州朝日放送コメンテーター
 - 慶應義塾大学医学部非常勤講師 等
- 令和元年～
 - BLOOMIN' JAPAN株式会社代表取締役
 - (株)インターネットインフィニティ社外取締役
 - 九州国際大学客員教授 等を歴任
- 令和5年2月～
 - 北九州市長

北九州市

人口/約90万人(2025.9現在) 面積/492.3km² GDP/3兆7,968億円
 製造品出荷額: 全市町村中第3位(苅田町含む) 再エネ発電電力量: 政令指定都市中第1位

出典: 北九州市政策局総務課統計係ホームページ、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、経済産業省「2024年経済構造実態調査」をもとに北九州市企業誘致課調べ

充実した都市インフラ

「場」のポテンシャル

物流 陸海空の充実した物流機能

北九州港

歴史ある「門司(太刀浦)」と多目的利用の広がる「ひびき」の2つのコンテナターミナル、完成車や半導体製造装置輸送のROROターミナル、関東、関西とを結ぶ西日本最大のフェリーターミナルを擁し、国内外のあらゆる海上輸送モードで物流ニーズにお応えします。



海

北九州空港

24時間利用可能な海上空港です。九州・中四国で唯一、国内外の貨物定期便が運航するとともに、シーアンドエア輸送が可能です。

令和5年3月末に悲願の滑走路3,000m化が事業化され、令和9年8月末の供用開始に向け、工事が進められています。

また、令和6年4月からは、ヤマトグループが貨物専用機を導入し、JALグループと共同による羽田・成田、新千歳を多頻度で結ぶ国内路線が就航しました。

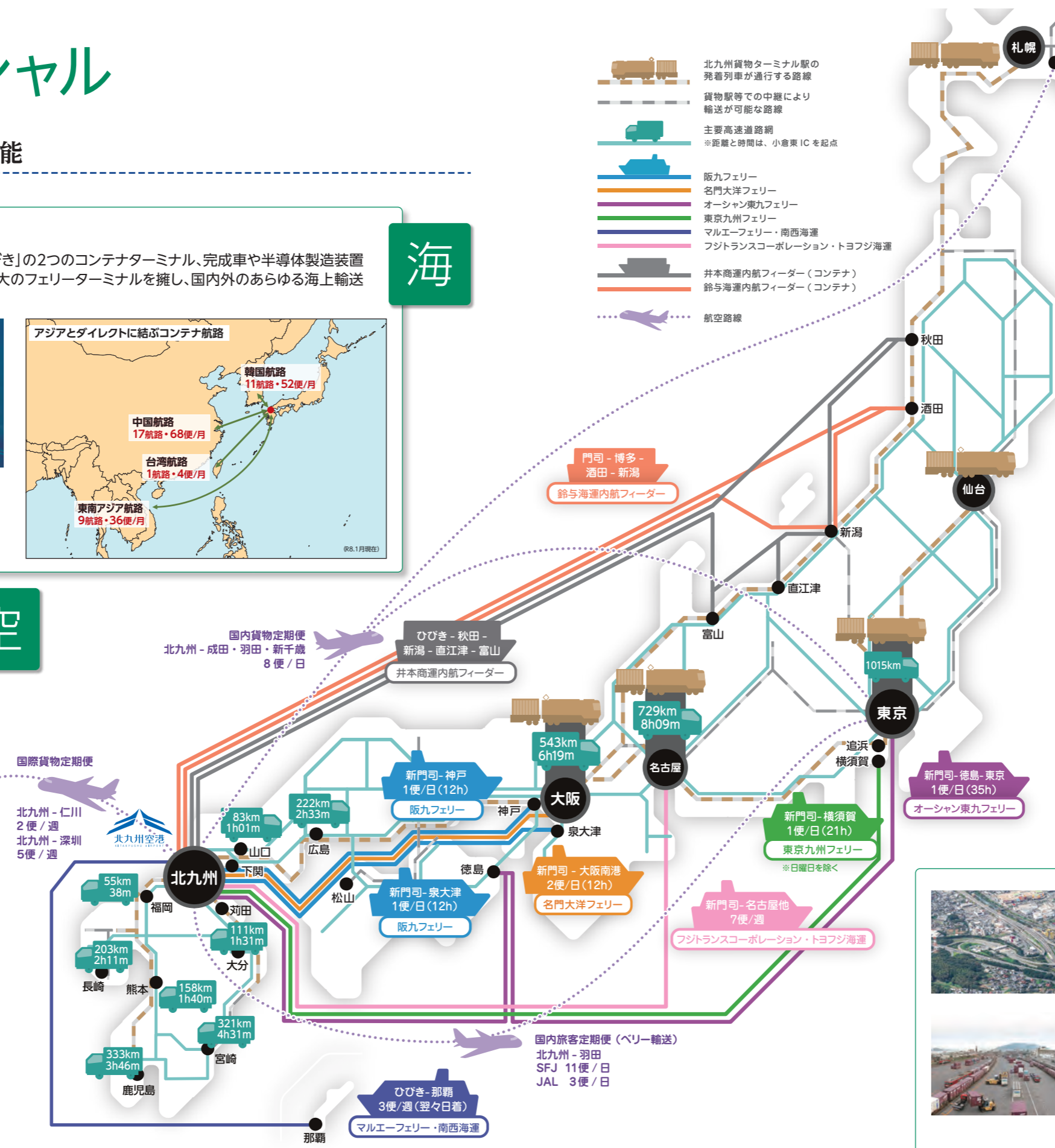
こうした貨物定期便のネットワークを生かし、さらに広げていくことで、多様な航空貨物輸送ニーズをしっかりと受け止めています。



滑走路3,000m化 進行中! 2027年8月末供用開始予定



空



本州と九州の結節点に位置するという地理的特性を有している北九州市は、古くから交通の要衝としての役割を果たし、明治22年、門司港が国の特別輸出港に指定され、明治24年には九州鉄道の起点として門司駅が開業し、北九州市の物流拠点としての発展が始まりました。現在では、充実した道路ネットワークや鉄道貨物の拠点である北九州貨物ターミナル駅、西日本最大の門司フェリーターミナル、アジアとの輸出入の拠点となる門司(太刀浦)・ひびきコンテナターミナル、24時間利用可能な北九州空港を有するなど、陸・海・空の物流インフラが充実しています。

また、過去100年間での震度4以上の地震発生回数が3回と、他の主要都市と比較して災害リスクが非常に低く、BCP拠点としての優位性があります。

さらには、遠賀川等を水源とした豊富な工業用水、再生可能エネルギーの集積、低廉なコスト(オフィス賃料・消費者物価)など恵まれたポテンシャルを有しています。

陸

高速道路網

本市は高速道路網の結節点となっており、東九州・西九州・西中国の広範囲において、高速道路網による陸送が可能となっています。

北九州貨物ターミナル駅

九州～本州間の全ての貨物列車が停車する貨物拠点駅。便数は九州最多で、2024年度のコンテナ貨物取扱量は、全国の貨物駅で第9位となっています。また、同駅では24時間体制で鉄道貨物の取扱いをサポートしています。

水道 安定供給可能な工業用水道



- 供給能力 254,000m³/日
- 契約水量 (R7.3.31現在) 201,135m³/日

特徴1 豊富な水源

水量の豊富な遠賀川を水源とし、表流水からの取水とダム貯水で、多系統化を図っています。

特徴2 安心な安定供給

老朽化した施設の更新や耐震化、ループ管の整備などを計画的に実施し、地震などの災害等に備えています。

特徴3 使いやすい料金制度

- 政令市で一番の低料金
- 二部料金制でさらにお得!
- 優遇制度あり!
- お試し受水も可能!

電力 再生可能エネルギーの集積



再エネの『地産地消』

市内小中学校

市内公共施設

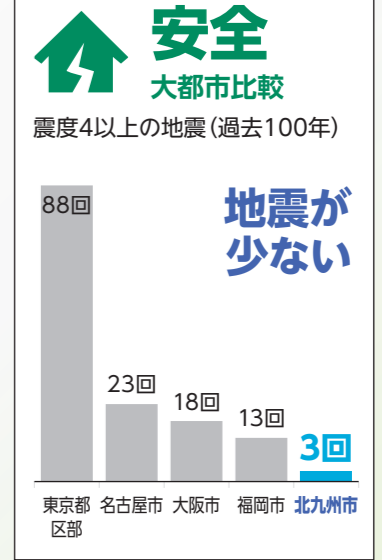
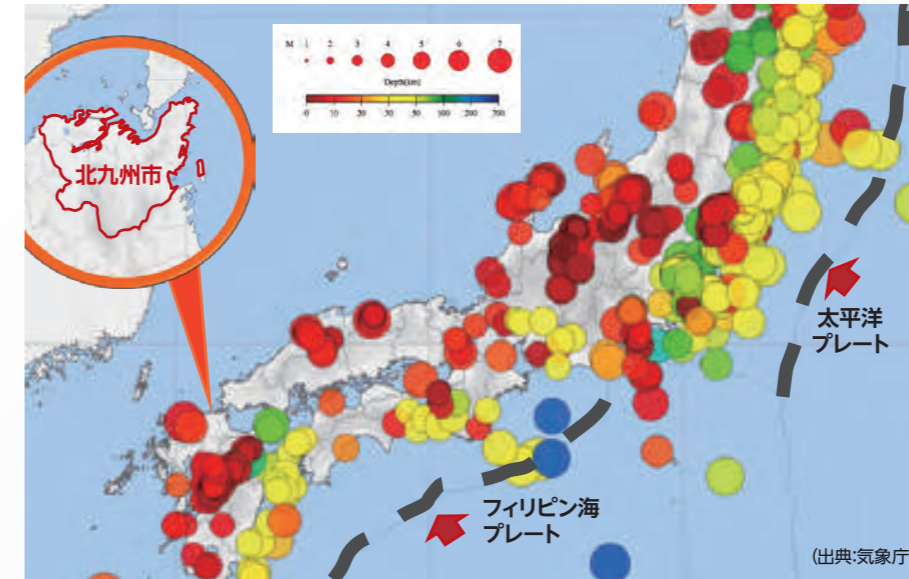
民間需要家

地域の脱炭素化の促進

- 環境省「脱炭素先行地域事業」(地域脱炭素移行・再エネ交付金)
- 中小企業創エネ省エネ蓄エネ応援事業
- 脱炭素電力認定制度

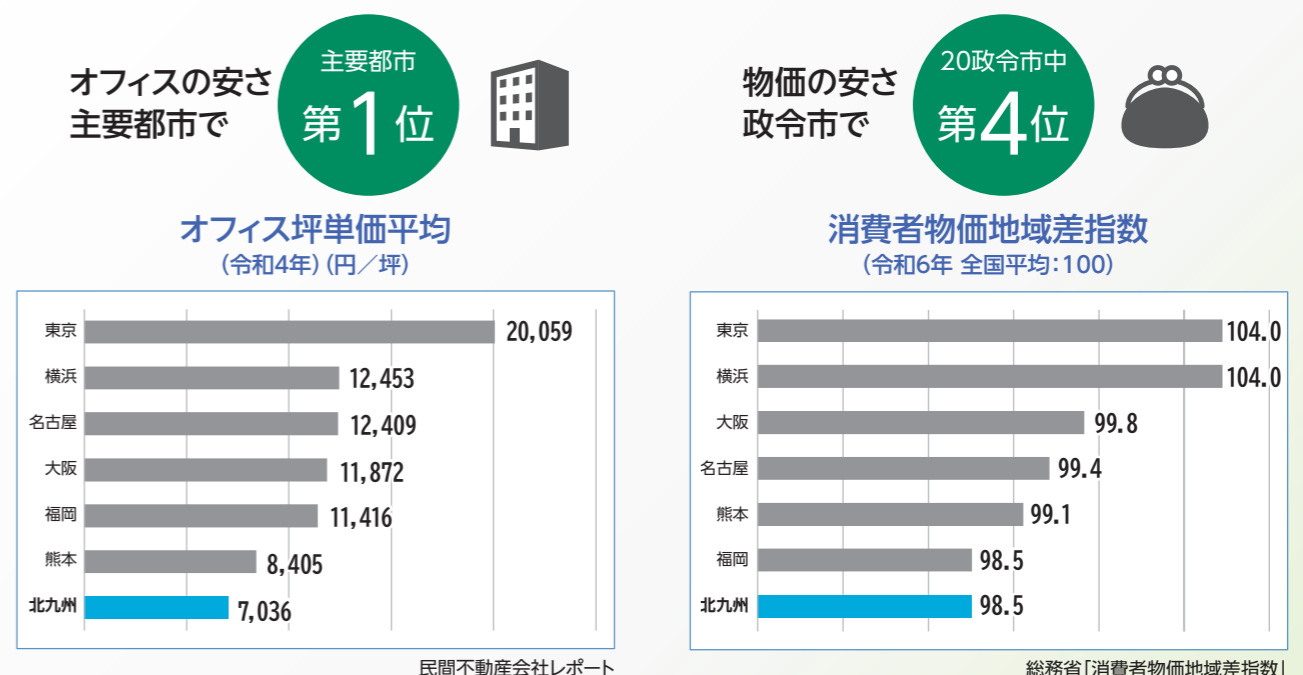
- 最大出力22万kWを誇る国内最大規模の「洋上ウインドファーム」、市内3か所のごみ処理施設などによる「バイオマス発電」、市民太陽光などの「大規模太陽光発電」など、豊富な再エネポテンシャル。
- 市内で発電した再エネを市内の企業等に供給する再エネの『地産地消』。
- 「北九州市脱炭素電力認定制度」で再エネ導入した企業を応援!

BCP 災害リスクの低さ



北九州市は大陸のプレート境界からも離れているため、比較的大地震のリスクが低い。
災害リスク低→企業の安定操業・社員の安全安心な暮らしに貢献

物価 低廉なコスト



企業活動しやすい街 北九州市

一世紀にわたり発展してきた産業都市

「企業」のポテンシャル

ものづくり(テック)産業×グリーン産業の発展

1901年～

官営八幡製鐵所が操業開始。

北九州市は原料素材供給地としての地位を高める。

東洋陶器(現 TOTO)、安川電機製作所(現 安川電機)、
日本タール工業(現 三菱ケミカル)などが創立。

鉄鋼・窯業・化学等の素材産業、産業機械や自動車など、
ものづくり企業が集積する工業地帯としての基礎が形成される。

1970年～

日本の高度成長を支えてきた北九州工業地帯は、
同時に公害問題に悩まされてきた。
市民、企業、行政の一体となった取組により、環境は急速に改善。
1980年代には公害克服の街として国内外で評価され、
環境産業の育成や環境に関連した研究機能が集積する都市へ。
北九州エコタウンには、日本最大級のリサイクル企業が集まり、
カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーの実現に貢献中。

成長産業の育成・誘致

現在～ 稼げる街への再出発

北九州市の産業の未来を見据え、どのような産業分野を育成して
いくべきかに関するポテンシャル調査を実施。

国の「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(内閣府)に
記載された産業分野等の計16分野をもとに、

- ・今後の世界、国内の市場成長性
- ・北九州市の研究開発力や技術力
- ・産業構造の分析(企業集積や付加価値額等)

の調査を実施。

調査の結果、半導体、蓄電池、次世代自動車北九州市との親和性が
非常に高いという結論が出た。

(他にも、宇宙、健康・医療、水素・アンモニアの計6分野が選定)

北九州市と親和性が高い次世代産業

半導体

経産省が民間投資を促進 JASMの進出など、九州において巨額投資が続く。

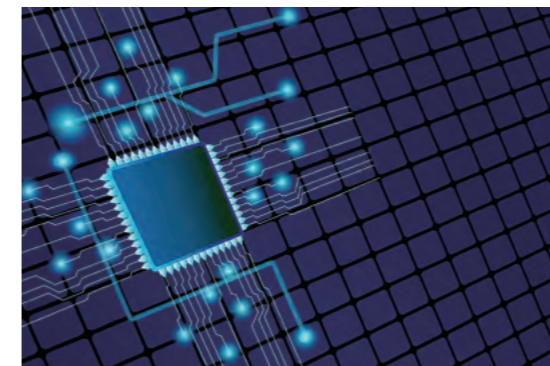
市内関連企業 **約100社**

大手

黒崎播磨、高田工業所、TOTO、三井ハイテック、三菱ケミカル 等

中堅・中小企業

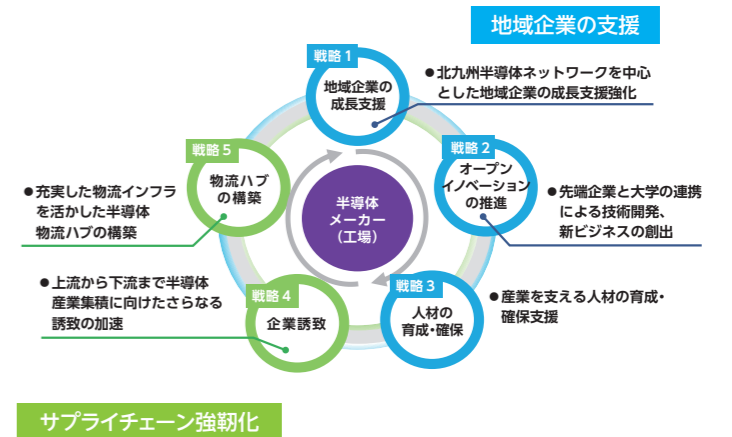
シリコンウエハ、リードフレーム、基盤素材、洗浄、素材、薬劑・ガス、製造装置部品、検査装置等の製造・開発 等



企業の集積

北九州市半導体戦略

北九州市のポテンシャルを活かし、半導体メーカー(工場)の立地を実現することにより、半導体の「製造」、「人材輩出」、「研究開発(イノベーション)」が切れ目なくつながるエコシステムを構築する。



次世代自動車

経産省の「グリーン成長戦略」で電動車供給が加速

関連性の高い市内企業 **384社**



※イメージ

トヨタ自動車、日産自動車等の完成車メーカーが立地し、関連企業が集積
集積ドライブトレイン、駆動モーター、モーターコア製造、EV用電池検査装置製造等に携わる
企業連携ネットワーク、パーツネット北九州に100社が参画

パーツネット北九州



自動車業界が100年に一度の大変革期といわれる中、自動車産業の動向や先端技術について、自動車メーカーや専門家などを講師に迎え、セミナー・講演会を開催しています。(年2回程度)

蓄電池

市場の急速な拡大で民間投資が進む

関連性の高い市内企業 **270社**



※イメージ

リチウムイオン電池の充放電検査装置のトップシェアメーカー、サイクル試験装置の設計・製作や検査工程の自動化に注力する企業
二次電池のリサイクル技術開発・工場操業、リチウム回収プロセスの研究開発に注力する企業等
リチウムイオン電池用電解液の素材メーカー

優秀な人材が集まるまち

「人」のポテンシャル

北九州学術研究都市

2001年、北九州市は、将来に向けて産業都市として発展していくための知的基盤として、「北九州学術研究都市」を整備しました。



北九州市立大学
国際環境工学部
大学院国際環境工学研究科



九州工業大学大学院
生命体工学研究科



早稲田大学大学院
情報生産システム研究科



産学連携センター(1号館)
福岡大学大学院 工学研究科



共同研究開発センター
(2号館)



情報技術高度化センター
(3号館)



事業化支援センター
(4号館)



技術開発交流センター
(5号館)



学術情報センター
(図書室・情報処理施設)

北九州学術研究都市に集積する3大学(北九州市立大学・九州工業大学・早稲田大学)のほか、周辺の九州工業大学情報工学院(飯塚市)等広く研究者が集積しています。(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)が、研究シーズと企業ニーズのコーディネートを行い、新たな産業の創出・技術の高度化に努めています。

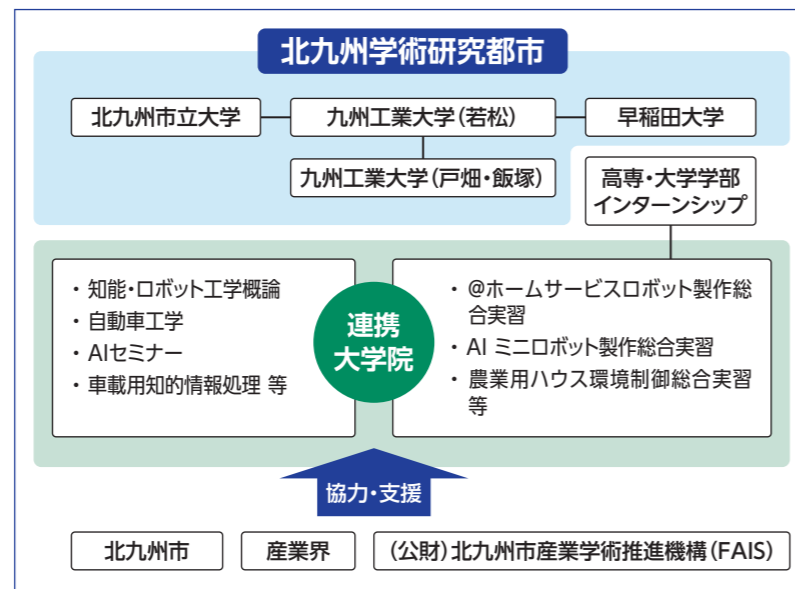
(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS) <https://www.ksrp.or.jp>



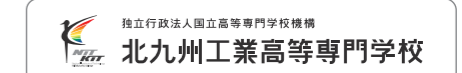
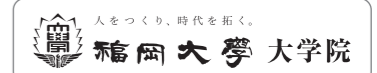
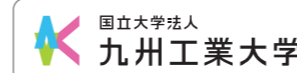
自動車・ロボット・AI分野の高度専門人材の育成

北九州学術研究都市にキャンパスを構える九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学は、国公私立の連携により北九州市および(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)の支援を受けて、「カーロボAI連携大学院」を開設しています。

連携大学院では、産業界のニーズに応え、「自動車」、「ロボット」、「AI」に加え、各分野で必要となる「半導体」の分野で次世代を担うリーダーとしての高度専門人材を育成するため、3大学が連携して各大学が強みとする研究領域を担当し、単位互換制度を活用したカリキュラムを策定しています。また、自動車・ロボット・半導体関連企業等の技術者らを迎えての「オフサイトミーティング」により、職業観の醸成を図ります。



教育機関 豊富な理工系人材



理工系14校・約3,000人の人材を毎年輩出

北九州市は多くの教育機関が
集積しており、文系を含めると

年間約**9,000人**を輩出

九州・山口の
大学・高専・専門学校へ
企業をおつなぎ

伴走型採用支援



市職員による学校同行訪問



教員マッチングイベント



立地企業に向けた充実した
採用サポート体制

半導体ネットワークの形成、人材育成強化

北九州市と(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)は、北九州市域の半導体関連産業振興のため、国、県と連携しながら、参加企業の取引拡大や人材育成・確保等につながる取組みを進め、本市域の半導体関連産業の活性化を図ることを目的として、令和4年7月に「北九州半導体ネットワーク」を設置しました。

北九州半導体ネットワークでは、半導体を一から学べる基礎講座の提供、半導体関連企業のマッチング機会の創出、大学との産学連携や企業間連携の支援などの取組みを実施しています。今後もさらなる強化に向けて、新たな参加企業を随時募集しています。(会費無料)

北九州半導体ネットワーク

① 半導体の人材育成・人材確保

- 半導体を一から学べる基礎講座の提供
- 即戦力人材や学生へのマッチング機会の促進



半導体活用基礎講座

② 販路の開拓や企業間交流の促進

- 顧客となる半導体メーカーへのマッチング機会の創出
- 企業間の交流促進や各種情報提供



第5回北九州半導体ネットワーク総会特別講演

③ 技術・研究開発の促進

- 大学との産学連携や企業間連携の支援
- 半導体関連開発に関する補助金の紹介



設計から評価まで一貫した研究開発の提供

用地紹介

大規模な産業用地 ここから始まる 新たなビジネス

陸・海・空の物流インフラを組み合わせることにより、多様な物流手段を確保でき、企業進出にあたって市がワンストップでサポートします。

産業用地一覧 | ●市有地 ●企業用地



1 響灘臨海工業団地

●用途地域/工業専用地域



2 日本製鉄株式会社 用地

●分譲面積/約3~16ヘクタール/区画
●用途地域/工業専用地域

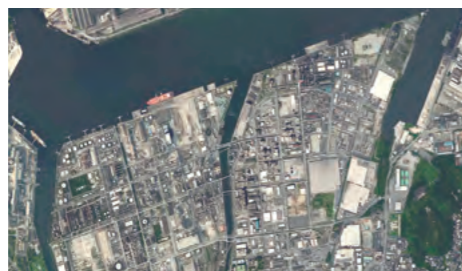


●分譲面積/約5ヘクタール/区画
●用途地域/準工業地域



3 ひびき灘開発株式会社 用地

●分譲面積/約13.4ヘクタール(3,770㎡~/区画)
●価格/21,800~23,700円/㎡
●用途地域/準工業地域



4 三菱ケミカル株式会社 九州事業所(福岡) 用地

●提供可能面積/約4ヘクタール
●用途地域/工業専用地域



5 若築建設株式会社 用地

●提供可能面積/約1ヘクタール
●用途地域/工業地域、準工業地域



6 サイエンスパーク

●分譲面積/約5.0ヘクタール
●価格/28,800円/㎡(令和5年度標準地価格)
●用途地域/準工業地域(地区計画あり)



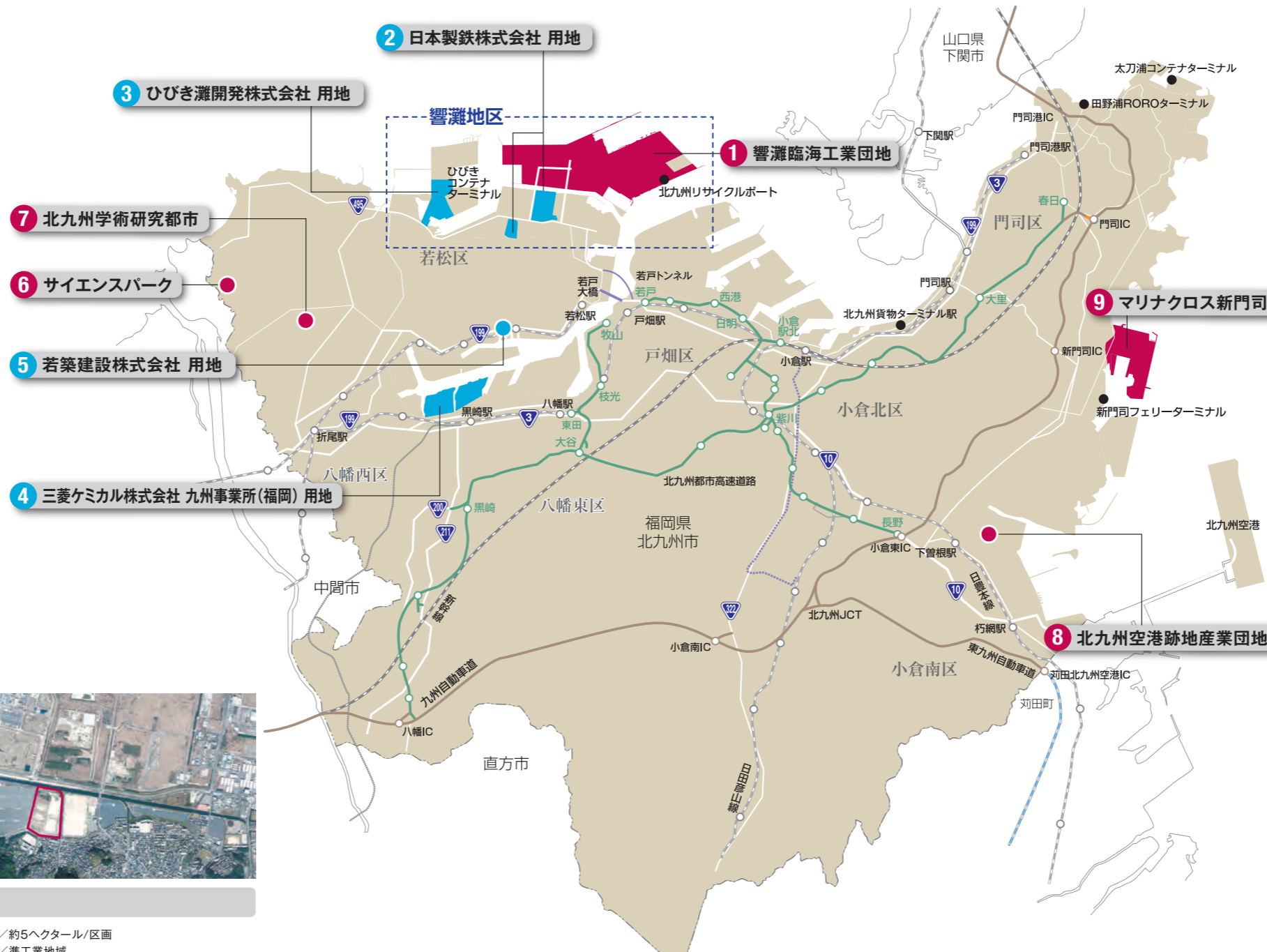
7 北九州学術研究都市

●分譲面積/約16ヘクタール
●用途地域/準工業地域(地区計画あり)



8 北九州空港跡地産業団地

●分譲面積/約5.6ヘクタール
●価格/31,000円/㎡(令和5年度標準地価格)
●用途地域/工業地域(地区計画あり)



ニーズに対応した 産業用地

質の高い豊富な人材を有する北九州市。市内を縦横無尽に走る高速道路網、鉄道、大型港湾施設、海上空港により、多様な物流手段が確保できる北九州市。ここは、製造・物流拠点として最適な地。そして、それを実現できる産業空間が広がります。様々なニーズに対応し、この地から始まるビジネスをバックアップします。

賃貸物件にも スピーディーに対応

長期賃貸が可能な用地もご提案できます。また、貸工場や貸倉庫・貸オフィスなどのニーズに対しても、不動産業者との連携や市独自の物件情報をもとに、速やかに対応します。



9 マリナクロス新門司

●用途地域/工業地域、準工業地域

響灘地区 大型港湾施設に隣接する広大な産業用地

地区内には-15mの大水深岸壁を擁し、高いポテンシャルを秘めた「ひびきコンテナターミナル」を備えるとともに、北九州市が有する24時間空港やフェリー、RORO船、JR貨物ターミナル等の物流インフラを活用可能な立地となっています。

利便性の高い立地を背景に本地区は日本とアジアの玄関口を担う製造・物流の拠点として、ブリヂストンをはじめ、多くの企業が集積しています。また、同地区では、「グリーンエネルギーポートひびき」事業^(※1)を推進しており、風力発電をはじめとした環境・エネルギー産業の集積を図っています。

響灘地区から主要地点までの距離 ※()内は車での移動時間

- 若戸トンネル出入口(都市高速直結) …… 2km(5分)
- 若戸大橋出入口(都市高速直結) …… 3km(8分)
- JR若松駅 …… 3km(8分)
- JR小倉駅 …… 10km(15分)
- 北九州貨物ターミナル駅 …… 16km(20分)
- 北九州空港 …… 31km(40分)

(※1) 響灘地区のポテンシャルを活かし風力発電関連産業の集積を図ることで、「積出・建設拠点」「製造産業拠点」「物流拠点」「O&M拠点」の4つの機能を備えた風力発電関連産業の総合拠点化を目指すもの。



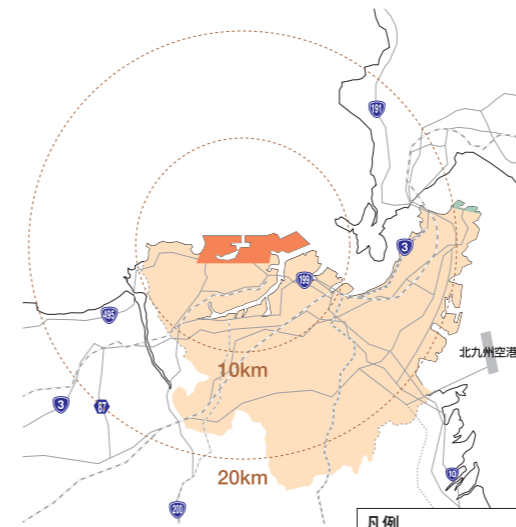


要港湾利用 製造工場等

響灘臨海工業団地「響灘地区」

大型港湾施設と一体となった産業団地を目指して

本団地は九州全域及び中国地方へのアクセス面に加えて、港湾インフラによってアジア諸国と連携した生産・貿易拠点としての優位性を背景に、ブリヂストンをはじめ、製造業を中心とした多くの企業立地が進んでいます。また、本団地を含む響灘地区は本市環境・リサイクル産業振興政策の中心地であり、グリーンエネルギー関連企業やリサイクル関連企業の集積が期待されています。

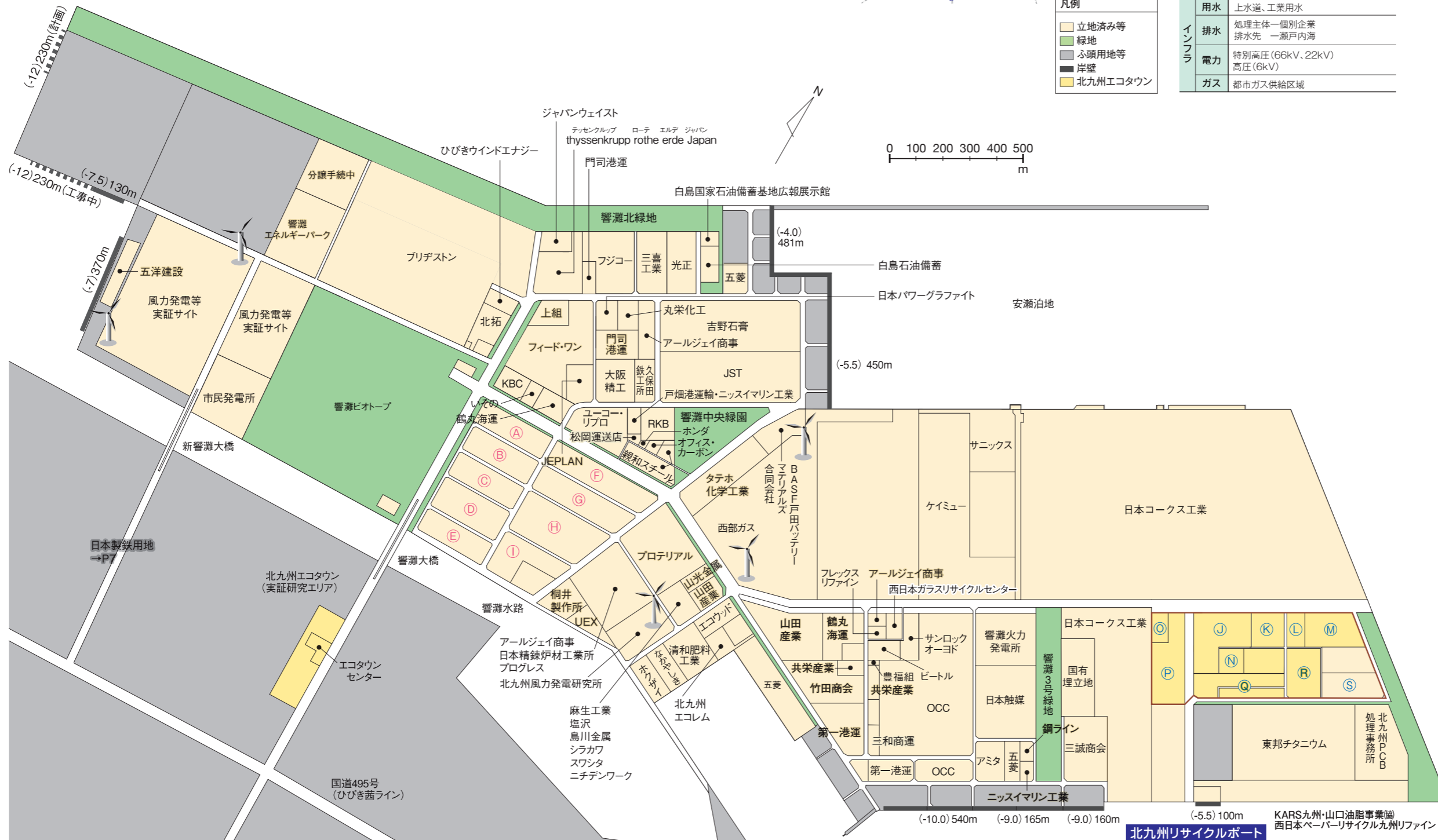


響灘地区から主要地点までの距離

- 若戸トンネル出入口(都市高速直結) ……2km(5分)
 - 若戸大橋出入口(都市高速直結) ……3km(8分)
 - JR若松駅 ……3km(8分)
 - JR小倉駅 ……10km(15分)
 - 北九州貨物ターミナル駅 ……16km(20分)
 - 北九州空港 ……31km(40分)
- ※()内は車での移動時間

用地概要

所在地	北九州市若松区響町	
分区	工業港区	
用途地域	工業専用地域	
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60% 容積率200%	
インフラ	用水	上水道、工業用水
	排水	処理主体一別企業 排水先 一瀬戸内海
	電力	特別高圧(66kV、22kV) 高圧(6kV)
	ガス	都市ガス供給区域



- A** 喜楽鋳業
丸仲運輸
前田環境
ファミリーマート
日金建設
北九州グリーン清掃
- B** 丸仲運輸
多摩ホールディングス
リンク
黒川クレーン工業
第一港運
伊崎工業
深海マリンシステムズ
岡田鋼材
北九運送
良地
後藤運送
小山
- C** サンシン
日本通運
山本段ボール
親和スチール
松木産業
竹原運送
富士丸運送
- D** シラカワ
日本ジタン
福栄工業
九州スプライスセンター
ヤシマナダ
スエヒロ3Rステーション
末広工業
- E** 福栄工業
良地
不二貿易
九州清掃事業センター
- F** 五興
ヒビキスバイス
日本エスエム
喜楽鋳業
ジャパン・ゼネラル
九州物流
- G** 九州五興
富山工業所
池田石材
末広工業
コーハツ
喜楽鋳業
鶴丸海運
岩野礦油
長谷川工業
豊誠工業
井上製作所
スエヒロ
ダイトシ
エムアイ通商
山文
藤田人形
加賀ローラ製作所
- H** 鶴丸海運
POSCO-JAPANPC
美浄社
環境科学
環境化学
エフテックス
- I** 北九州住設
明洋
サードプレス
ブレイング
NHK
- J** 北九州エコタウン総合環境コンビナート
- K** 西日本ベトボトルリサイクル
- L** 西日本オートリサイクル
- M** リサイクルテック
- N** 西日本家電リサイクル
- O** ジェイ・リライツ
- P** NRS
- Q** 日本磁力選鉱
- R** 響リサイクル団地
- S** [自動車リサイクルゾーン]
北九州ELV協同組合
ビッグ大里
風野メタル
UPNモリタ
ヤマダ商会
三橋パーツ
太陽興業
尼岡産業
- T** [フロンティアゾーン]
KARS
九州・山口油脂事業(協)
西日本ペーパーリサイクル
九州リファイン
- U** 松尾環境

要港湾利用 製造工場等
日本製鉄株式会社 用地1 「響灘地区」

広大な用地と整備されたインフラで戦略的の事業用地として分譲中です。

用地概要

所在地	北九州市若松区向洋町、響町
分区	工業港区
用途地域	工業専用地域 建ぺい率60%/容積率200%
用水	上水道、工業用水
排水	①～④：下水道
電力	特別高圧(66kV、22kV) 高圧(6kV) ※供給可能時期は要相談
ガス	都市ガス供給区域
分譲価格	要相談



製造工場等
日本製鉄株式会社 用地2 「響灘地区」

広大な用地と整備されたインフラで戦略的の事業用地として分譲中です。

用地概要

所在地	北九州市若松区向洋町
分区	(臨港地区外)
用途地域	準工業地域 建ぺい率60% / 容積率200%
用水	上水道、工業用水
排水	下水道事業計画区域外
電力	特別高圧(66kV、22kV) 高圧(6kV) ※供給可能時期は要相談
ガス	都市ガス供給区域
分譲価格	要相談



大型港湾施設に近接する広大な産業用地



開発済区画

区画	面積
①	約3.0ha
②	約15.5ha
③	約4.9ha
④	約4.6ha

※用地開発や分譲条件等の詳細はお問合せください。



開発済区画

区画	面積
⑤	約4.9ha
⑥	約4.5ha

※用地開発や分譲条件等の詳細はお問合せください。

用地紹介動画
 YouTube
 で公開中!

CHECK

要港湾利用 物流施設等
ひびき灘開発株式会社 用地 「響灘地区」

水深-15mの岸壁を有するひびきコンテナターミナルの直背後に位置する好立地。
 アジアのマーケットに繋がる最適な物流拠点用地です。

用地概要

所在地	北九州市若松区響町三丁目1番 (ひびきコンテナターミナル背後地)
面積	約134,300㎡(1区画:3,770㎡~)
分譲方法	公募分譲(随時行います)
地目	雑種地
用途地域	準工業地域(臨港地区・商港区)
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%
インフラ	用 水 上水道・北九州市 排 水 下水道・無(浄化槽設置要) 雨水排水 前面道路に雨水排水管完備 電 力 特別高圧(22kV) 高圧(6.6kV) ガ ス プロパンガス

分譲区画/価格

2024年6月から適用

区画	面積	分譲価格(㎡単価)	区画	面積	分譲価格(㎡)
⑥	8,810㎡	21,800円/㎡	㉑	3,770㎡	23,700円/㎡
⑦	8,810㎡		㉒	35,000㎡	21,800円/㎡
⑧	7,530㎡		㉓	23,200㎡	
⑱	4,150㎡		㉔	35,000㎡	
⑲	3,910㎡	23,700円/㎡			
⑳	4,120㎡				



大型港湾施設の直背後に
 位置する港湾物流拠点用地



響灘西部地区分譲地



用地概要

所在地	北九州市若松区響町三丁目
面積	約55,000㎡
分区	商港区
用途地域	準工業地域
建ぺい率 及び容積率	建ぺい率60% 容積率200%
インフラ	用水 上水道 排水 下水道無(浄化槽設置要) 電力 九州電力

製造工場等
三菱ケミカル株式会社 九州事業所(福岡)用地

事業所内の充実したインフラや基礎化学品の供給など、初期投資の削減やランニングコストの低減により、企業立地をサポートします。

用地概要

土地所有者	三菱ケミカル株式会社
所在地	北九州市八幡西区黒崎城石1番1号
用途地域	工業専用地域
分区	工業港区

インフラ設備

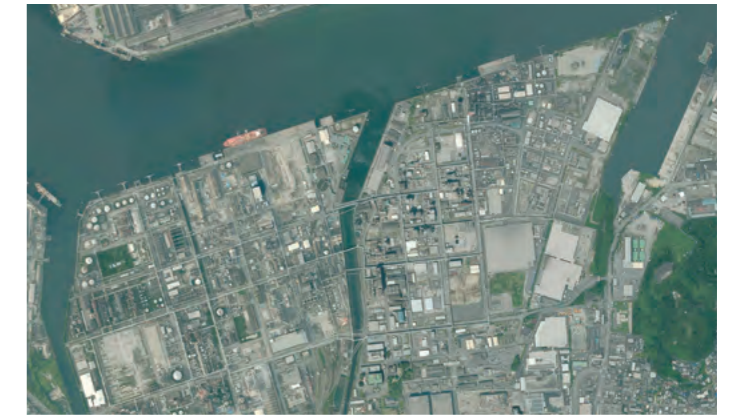
- 電力…………… 買電(66kV・3.3kV)
- 蒸気…………… 蒸気発生設備(LNG使用)
- 用水…………… 工業用水(北九州市、自家用)・上水他
- 工業ガス…………… 窒素・酸素・LNG
- 排水…………… 活性汚泥処理

物流インフラ

- 埠頭、棧橋…………… 埠頭(最大載貨重量トン13,500t、喫水7.6m)・棧橋(危険物荷役可能、ローディングアーム荷役)
- トラック通用門…………… 3ヶ所(カードによる出入管理)

提供可能基礎化学品

硫酸、メタノール、苛性ソーダ、塩酸、酸素、窒素



若築建設株式会社 用地

二島工業団地に近接した工業用地。国道沿いには住宅地があり、JR筑豊本線藤ノ木駅が近い、通勤に便利な職住近接のロケーションです。

穏やかな洞海湾に面した土地



用地概要

所在地	北九州市若松区大字藤ノ木
面積	約15,000㎡
用途地域	工業地域
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%
インフラ	用 水 上水道 排 水 下水道 電 力 高圧(6kV) ガ ス プロパンガス

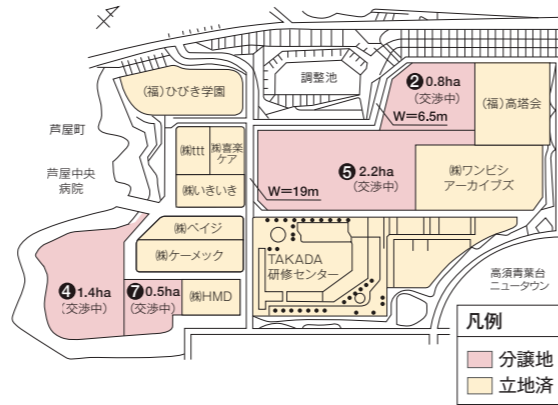
①賃貸地

区画	面積	賃貸価格
6号地	約5,300㎡	810,000円
7号地	約3,000㎡	500,000円
11号地	約510㎡	75,000円
12号地	約840㎡	120,000円
13号地	約660㎡	80,000円

店舗・福祉関連施設等 研究開発施設等
サイエンスパーク

快適な住環境として名高い高須青葉台ニュータウンの一角に位置しており、隣町の芦屋中央病院と隣接し、店舗や福祉関連施設等に最適な用地です。
強固な地盤(N値50以上)が特徴でデータセンター等にも向いています。

店舗や福祉関連施設などの立地に最適



用地概要		分譲区画及び面積	
所在地	北九州市若松区青葉台西六丁目	区画	面積
面積	約5.0ha	②	8,000㎡(約2,424坪)
分譲方法	随時受付中	④	14,000㎡(約4,242坪)
地目	宅地	⑤	22,000㎡(約6,666坪)
用途地域	準工業地域(地区計画あり)	⑦	5,000㎡(約1,515坪)
建ぺい率及び容積率	建ぺい率60%、容積率200%		
インフラ	用水	上水道	
	排水	下水道	
	電力	高圧(6kV)	
	ガス	都市ガス供給区域	

地区計画の用途	分譲価格	(参考) 令和5年度標準地価格
②、⑤：生活・業務関連施設地区 ④、⑦：研究開発地区	28,800 円/㎡	(約95,040円/坪)

製造工場等 物流施設等
北九州空港跡地産業団地

北九州空港、JR下曾根駅や九州縦貫自動車道小倉東インターチェンジ等への交通アクセスに優れ、地域への波及効果の高い自動車産業を中心とした次世代産業拠点に位置づけられた産業団地です。
将来的には、団地東側の恒見朽網線が延長整備されることで、マリナクロス新門司までのアクセスが良くなり、更なる交通利便性の向上が期待されています。

交通アクセスに優れ大規模な用地が確保できる産業用地

用地概要		
所在地	北九州市小倉南区曾根北町	
面積	約5.6ha	
用途地域	①工業地域(地区計画あり)、②市街化調整区域	
インフラ	用水	上水道
	排水	下水道
	電力	特別高圧(22kV近隣にあり) 高圧(6kV)
	ガス	都市ガス供給区域

分譲価格 (参考) 令和5年度標準地価格
31,000円/㎡ (約102,300円/坪)



研究開発施設等
北九州学術研究都市

大学、研究機関、産学連携施設等を主体とした大規模な研究開発拠点化用地で自動車・ロボット・半導体などの研究開発型企業や実証フィールドに最適な用地です。

理工系大学、研究機関が集積する研究開発拠点化用地



用地概要		
所在地	北九州市若松区ひびきの北	
面積	約16ha	
用途地域	準工業地域(地区計画あり)	
建ぺい容積	建ぺい率60%、容積率200%	
インフラ	用水	上水道
	排水	下水道
	電力	高圧(6kV)
	ガス	都市ガス供給区域

北九州空港跡地土地利用計画図



※計画道路の内、今後変更となる可能性があるものについては、破線を示す。

充実した補助メニュー

企業立地促進補助制度

ご利用にあたって

- 各種補助要件(投資額・雇用人数等)があります。
 - 事業着手前に事業計画書を提出する必要があります。
 - 補助制度については変更となる場合がございます。
- 最新の制度内容や申請方法については、お気軽にお問い合わせください。

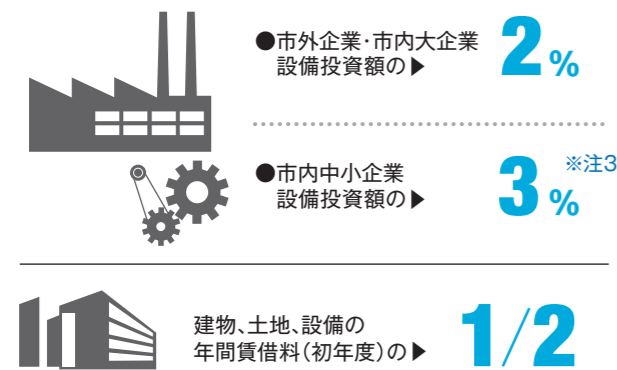
企業立地促進補助金

対象要件 以下の施設もしくは指定する業種の事業所の新設・増設が対象

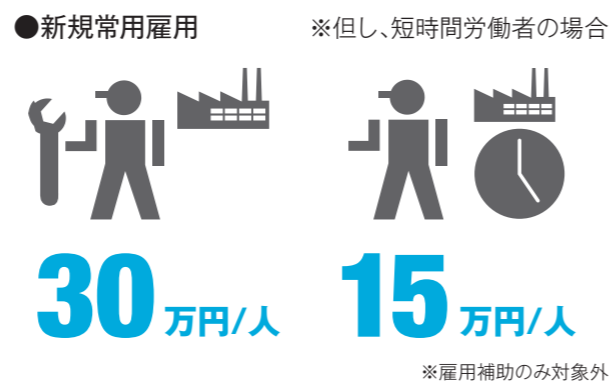
施設	事業所 ※注2																				
<ul style="list-style-type: none"> ●製品の製造加工工場 ●自然科学研究所 ●荷捌き施設 ●保管施設 ●流通加工施設 	<table border="0"> <tr> <td>① 機械設計業</td> <td>② 産業用機械器具賃貸業</td> <td>③ エンジニアリング業</td> <td>④ 非破壊検査業</td> </tr> <tr> <td>⑤ 賃貸施設(別途要件があります。詳細についてはお問い合わせください。)</td> <td>⑥ 機械修理業</td> <td>⑦ 事務用機械器具賃貸業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 情報提供サービス業</td> <td>⑨ ディスプレイ業</td> <td>⑩ 総合リース業</td> <td>⑪ ソフトウェア業</td> </tr> <tr> <td>⑫ 広告代理業</td> <td>⑬ 経営コンサルタント業</td> <td>⑭ 産業用設備洗浄業</td> <td>⑮ 情報処理サービス業</td> </tr> <tr> <td>⑯ デザイン業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	① 機械設計業	② 産業用機械器具賃貸業	③ エンジニアリング業	④ 非破壊検査業	⑤ 賃貸施設(別途要件があります。詳細についてはお問い合わせください。)	⑥ 機械修理業	⑦ 事務用機械器具賃貸業		⑧ 情報提供サービス業	⑨ ディスプレイ業	⑩ 総合リース業	⑪ ソフトウェア業	⑫ 広告代理業	⑬ 経営コンサルタント業	⑭ 産業用設備洗浄業	⑮ 情報処理サービス業	⑯ デザイン業			
① 機械設計業	② 産業用機械器具賃貸業	③ エンジニアリング業	④ 非破壊検査業																		
⑤ 賃貸施設(別途要件があります。詳細についてはお問い合わせください。)	⑥ 機械修理業	⑦ 事務用機械器具賃貸業																			
⑧ 情報提供サービス業	⑨ ディスプレイ業	⑩ 総合リース業	⑪ ソフトウェア業																		
⑫ 広告代理業	⑬ 経営コンサルタント業	⑭ 産業用設備洗浄業	⑮ 情報処理サービス業																		
⑯ デザイン業																					

◎雇用要件:新規常用雇用者(※1)5人以上(市内中小企業3人以上)
 (※1:次のいずれかに該当する者)福岡県民で新規に雇用された者、もしくは新規雇用・転勤・出向で北九州市に転入した者

①設備補助 最大10億円



②雇用補助



※注1 令和9年度から延面積3,000平方メートル以上のもののみ対象(危険物倉庫/冷凍倉庫、冷蔵倉庫又は低温倉庫は除く)
 ※注2 ⑥~⑯は、令和9年度から対象外
 ※注3 令和9年度から2%

グリーンアジア国際戦略総合特区

目標 アジアの活力を取り込み、アジアから世界に向けて展開し、アジアと共に成長することを目指す

支援制度 環境配慮自動車(部品を含む)や再エネ・省エネに関する製品・設備の研究・開発や製造に対し、以下の支援制度がありますので、ぜひご活用ください。

国の総合特区制度活用支援メニュー ● 税制上の支援措置(法人税の軽減) ● 金融上の支援措置(利子補給制度)

福岡県のグリーンアジア国際戦略総合特区特例

- ① 企業立地促進交付金
通常 設備投資額(用地取得費を除く)×1~3%
特区特例 上記の交付率(1~3%)に5%を加算→6~8%を交付
- ② 税制優遇措置
特区特例 不動産取得税(建物4%、土地3%)の免除

に加えて

北九州市のグリーンアジア国際戦略総合特区特例

- 税制優遇措置
特区特例 固定資産税を3年度分免除
※ 支援メニューを活用するためには、要件を満たす必要があります。詳しくはご相談ください。

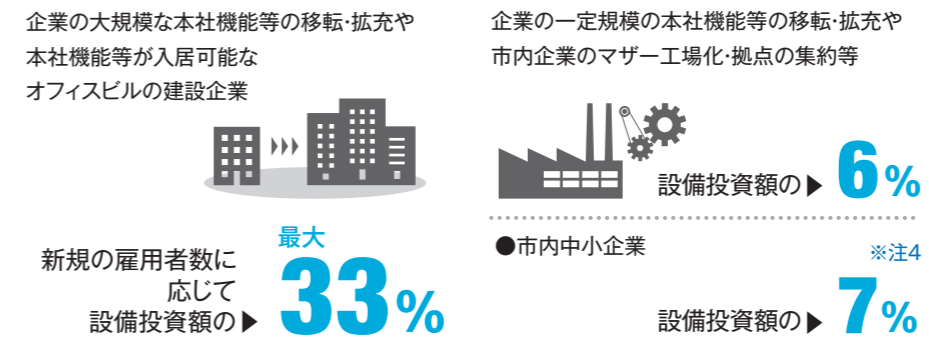
本社機能等移転促進補助金

- 対象要件 ●企業の本社機能等の移転・拡充が対象 ※市内既存の本社機能等の移転のみは対象外
 ●市内企業のマザー工場化・拠点の集約等

本社機能とは

「総務・経理等の管理業務部門」、「調査・企画部門」、「情報処理部門」、「研究開発部門」、「国際事業部門」のいずれかを有する事務所または研究所、もしくは研修所のこと。

①設備補助 助成額の上限5億円



②雇用補助 助成額の上限なし



市内オフィスビル賃借による企業の本社機能等の移転・拡充

5年間の賃料の助成額上限2,500万円
 (立地後5年間の雇用計画が100人以上の場合は、2億5千万円)



建物の年間賃借料の

1/2 (5年間)

※市内オフィスビル賃借による企業の本社機能等の移転・拡充に伴う補助金の場合、初年度以降、純増員数に限る。

※注4 令和9年度から6%

地域未来投資促進法に基づく課税免除制度

支援制度 福岡県地域未来投資促進基本計画に沿った「地域経済牽引事業計画」を作成し、福岡県の承認を受けた事業者に対し、以下の支援制度がありますので、ぜひご活用ください。

税制優遇措置

- ① 開発を行った土地について3年度分
 - ② 当該土地に事業用施設を建設した場合、施設とその敷地について3年度分
- あわせて最大6年度分の固定資産税を免除

※その他、国の法人税の軽減措置や福岡県の不動産取得税の課税免除制度があります。詳しくはご相談ください。



立地企業様からの声 1

サンワマテリアルソリューションズ株式会社

輸入依存度の高い化学材料を国内で資源循環するため、三和油化工業(株)とエア・ウォーター・マテリアル(株)が合併会社を設立しました。九州エリアを中心に成長が見込まれる半導体関連企業等の産業廃棄物をマテリアルリサイクルします。

拠点新設の背景

三和油化工業(株)は「環境ニーズを創造する」をテーマに事業展開しており、産業廃棄物の資源リサイクルに注力してきました。エア・ウォーター・マテリアル(株)はシリコンアイランドと呼ばれた九州の半導体時代から販売網を持っており、2021年グリーンイノベーション部を立ち上げ環境・脱炭素をキーワードに注力しています。この2社が組むことで生まれるシナジーでサステナブル社会へ貢献していくことを考えています。

九州では半導体を中心とした動脈産業(ものづくり)が成長していく一方、静脈産業(リサイクル)は今後の課題と感じております。また、半導体関連のものづくりでは、化学材料が大量に使われており、原材料の多くは海外からの輸入に頼っております。この輸入依存度の高さに起因するリスクを少しでも減らすべく、化学品の地産地消を目指して資源リサイクルを進めていければと考えております。

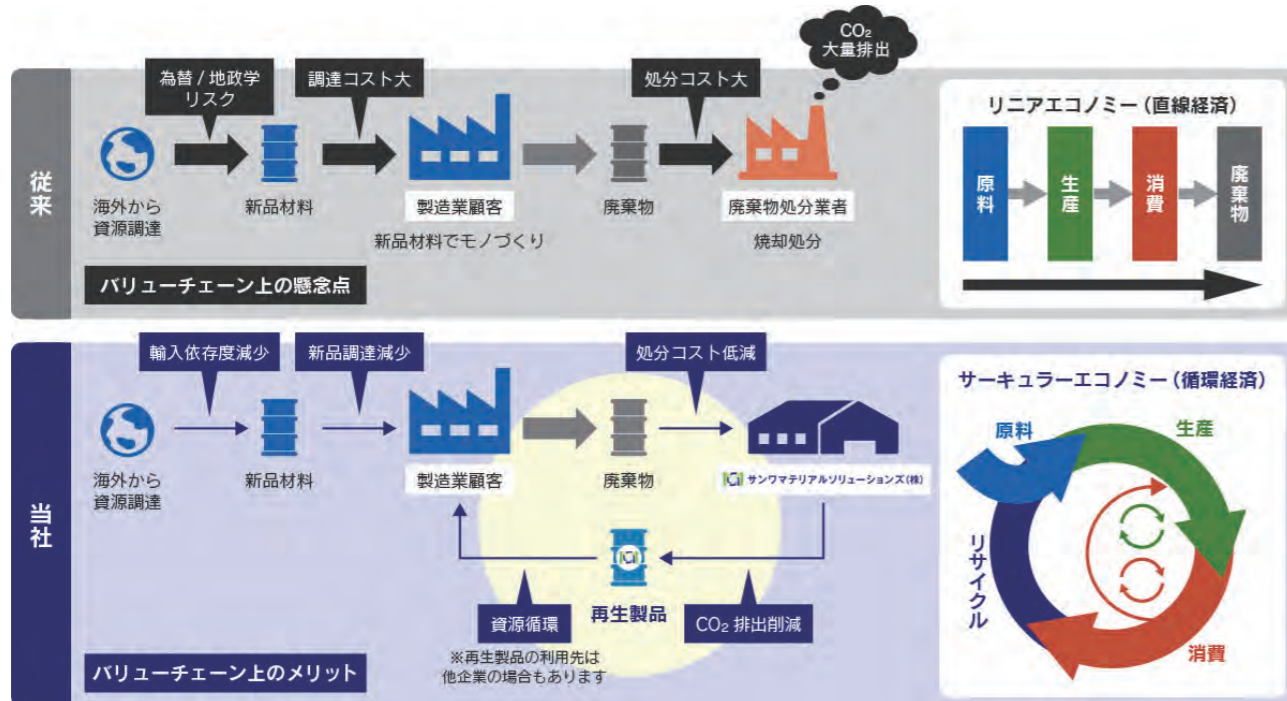
北九州市に進出を決めた理由

北九州市は「環境未来都市」*を構想し、「北九州エコタウンプラン」を策定しています。同時に「シリコン・シティ」を目指すことを掲げています。北九州市の環境・リサイクル産業の振興を目指す姿勢が、当社が目指すビジョンと合致していました。

また、北九州市は本州にもつながるエリアです。九州エリアだけでなく本州・特に広島エリアへのアクセスが良い点も立地場所を北九州市に決定する要因となりました。

*「環境未来都市」

「環境未来都市」構想は、国の「成長戦略」(平成22年6月閣議決定)に位置付けられた、21の国家戦略プロジェクトの一つ。国が限られた特定の都市を環境未来都市として選定し、我が国及び世界が直面する地球温暖化、資源・エネルギーといった環境問題に加え、人口減少や超高齢化など社会的な課題に、他都市に先駆けて取り組み、成功事例を国内外に普及展開することで、需要拡大、雇用創出等を実現し、究極的には、我が国全体の持続可能な経済社会の実現を目指すもの。



北九州市のサポートで良かった点

市長をはじめとして北九州市全体から強力なバックアップを頂けたことが、進出の決め手になりました。立地を決めたAGC社の九州事業所内の場所を紹介頂いた点も大きかったです。

加えて、企業立地支援課様には許認可関係の担当部署をご紹介頂くなどワンストップで対応頂き、また、職員の方々から丁寧かつ具体的なアドバイスを頂くことができました。

特に職員の方々の全てのレスポンスがとても早かった点は非常にありがたく、市長と職員の方々が同じ方向を向いていると感じました。

また北九州市が半導体以外にも未来産業の誘致を進めており、私たちのお客様になりうる産業の集積が進んでいることも前向きに捉えています。



今後の展望

立地場所はプライベートパスがありますので、将来的には船を介した物資の運搬など、物流問題とCO2削減を目指した取り組みも進めたいと考えています。

また、廃棄物には有機溶剤以外にも様々なものがあるため、資源リサイクル可能な廃棄物の種類を増やし、課題解決の幅を広げるよう設備投資も行い、サステナブルな社会に貢献していきたいと考えています。その中で、人員増強も必須になってきます。

人材採用は、北九州市様が色々サポートされているとの話も伺っています。地元企業として、雇用も増やしていきたいと考えています。



代表取締役社長 山本 浩貴 氏

立地企業様からの声 2


株式会社日本触媒

独自の触媒・合成技術を基盤に、紙おむつ等の日用品に使われる高吸水性樹脂から、電池・電子部品向けの先端材料まで幅広い化学素材を開発・製造し、暮らしの快適さと環境負荷低減の両立に貢献されています。

拠点新設の背景

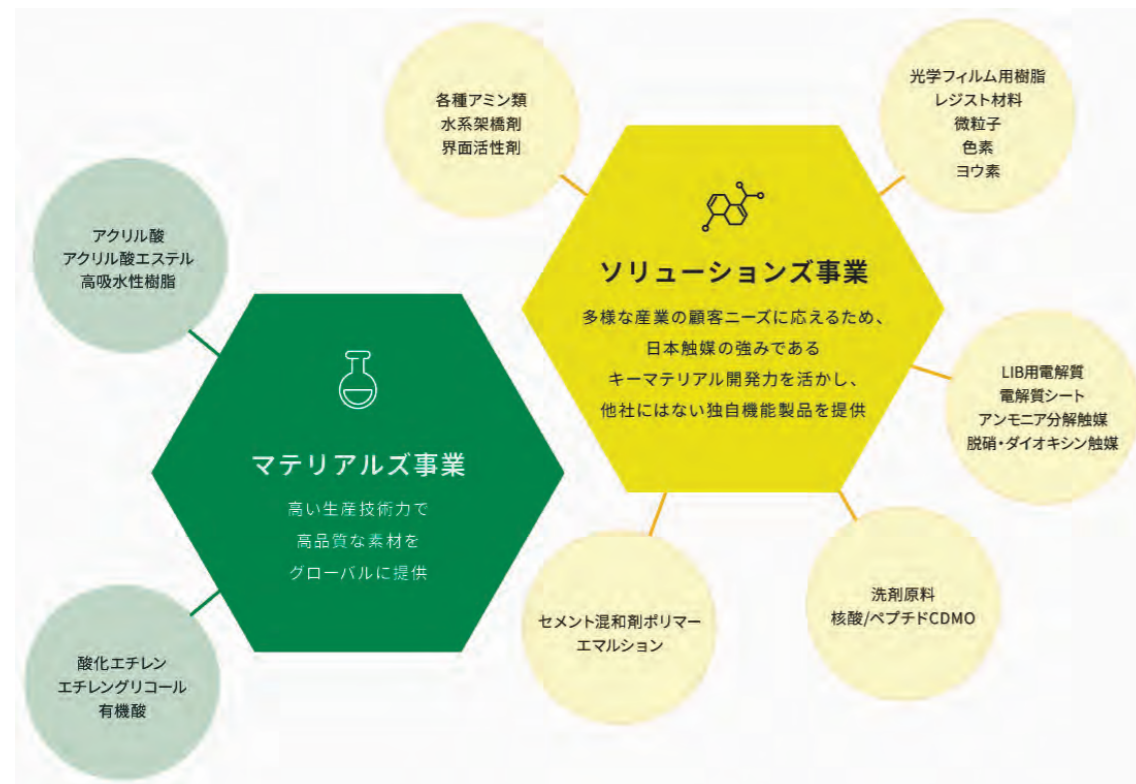
拠点新設の狙いは、生産能力の増強にあります。当社では、既存分野に偏った事業構造を見直し、スペシャリティ、エレクトロニクス、電池などの成長分野を担うソリューションズ事業へ事業ポートフォリオを転換する取り組みを進めています。その中核の一つが、リチウムイオン電池向け電解質として位置づける「イオネル®」です。イオネルは、リチウムイオン電池の性能向上に寄与する特性を有しており、日本市場でも車載用途を中心に今後も需要の拡大が見込まれます。当社のイオネル事業は、「地産地消」を基本戦略としており、国内で安定的に供給できる基盤整備が課題となっていました。目標とする生産規模の実現と最新技術の導入を見据え、

既存拠点の増強ではなく、新たな工場を建設する判断に至りました。

一方で事業用地の確保は容易ではなく、全国を対象に候補地の検討を進めました。他社の進出記事を参照事例にするなど、常にアンテナを張った情報収集を行い、候補地の比較検討を重ねることで、拠点新設の構想を具体化してきました。

北九州市に進出を決めた理由

当社は、電解質「イオネル」の供給体制強化に向け、北九州市若松区の響灘地区に新工場を建設することを決定しました。立地選定の決め手は「立地条件」と「事業環境」の二点です。



響灘地区は全国的にも知られる工業団地で、まとまった用地を確保しやすく、港湾施設を活用できるなど物流面でも優位性があります。加えて、工場運営を支えるインフラ面でも適した環境があると判断し、BCPの観点から自然災害リスクも踏まえて評価しました。

一方で、周辺に自動車産業などが集積していることから、将来的な事業機会の広がりも見込めます。脱炭素の推進に積極的な地域であることや、再生可能エネルギーの活用余地も評価材料となりました。こうした二つの観点で条件が揃ったことから、用地についてもおよそ数カ月という比較的短い期間で購入の意思を固めました。また、海外を含む取引を行う当社にとって、アジアを代表する主要貿易港にアクセスしやすい動線面での優位性も後押しとなりました。

北九州市のサポートで良かった点

北九州市のサポートで特に印象に残っているのは、職員の皆様の「柔軟さ」と「スピード感」です。市長をはじめ企業誘致に積極的だと事前に聞いていましたが、実際にその姿勢を随所で感じました。当社にとって北九州市への進出は初めてであり、国内新工場の建設自体も60年以上ぶりとなります。そのため社内では許認可関係のノウハウが十分とは言えない状況でしたが、担当の方々には状況に応じて柔軟かつ迅速に

対応いただき、工事開始までの見通しを立てることができました。

各局との調整は多岐にわたりましたが、「官公庁は冷たいのでは」という先入観は良い意味で覆されました。画一的に進めるのではなく、当社の事情を親身に汲み取ったうえで、状況に応じて柔軟に対応いただけた点は、大きな安心材料でした。

このような支援を受けることができるということは、今後北九州市への進出を検討する企業にとっても、背中を押すポイントだと思います。

活用している補助金

補助金の活用については、北九州市の「企業立地促進補助金」を対象としており、あわせて福岡県の「企業立地促進交付金」も要件を満たす前提で活用を見込んでいます。

制度を知ったきっかけは、北九州市の企業誘致課から案内を受けたことが大きく、福岡県についても県庁への挨拶の際に制度の説明を受けました。さらに国の支援策については、電池関連の一般社団法人を通じて経済産業省の支援制度を把握し、要件の整理と確認を進めた上で申請を行っています。

今後の展望

この度、最新鋭の設備と技術を導入する北九州工場を、イオネル事業の世界的なマザー工場として位置付け、さらなる事業拡大を目指してまいります。次世代モビリティや再生可能エネルギーの普及を支えるキーマテリアルのイオネルにより、カーボンニュートラル社会の実現に貢献するとともに、北九州市における関連産業の誘致促進にも寄与できるよう全力で取り組んでまいります。



代表取締役社長 野田 和宏 氏